

福井県の子どもの読書活動の現状

- ふだん読書しない児童生徒が増加傾向
 - <平日に読書時間が全くない児童生徒>
小6 R1: 15.5%→R5: 24.6%
中3 R1: 32.1%→R5: 37.8%
 - <1か月に1冊も本を読まない高校生>
R1: 43.8%→R5: 46.3%
「高校生学習状況調査」(福井県)より
- スマホ時間が増える一方、読書時間が30分以上の児童生徒が全国に比べて少ない
 - <スマホ時間30分以上>
小6 H29: 35.0%→R6: 67.0%
中3 H29: 62.5%→R6: 89.0%
 - <平日の読書時間(小6)>(R5)
30分以上 県31.7%(全国37.3%)
- 読書が好きな児童生徒が全国に比べて少ない
 - 小6 R5: 県 68.6%(全国71.8%)
中3 R5: 県 64.1%(全国66.0%)

※統計の数値は特に記載がない限り、
「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)より

- 課題
- 自主的に読書を楽しむ児童生徒の割合が全国に比べ少ない傾向
 - 小学生までの読書習慣の形成が不十分
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により本に触れる機会が減少



目標の設定

本計画では、子どもたちが「読書って楽しい」、「知ることってうれしい」と感じることで、読書を好きになって欲しいという想いを込めて目標を設定します

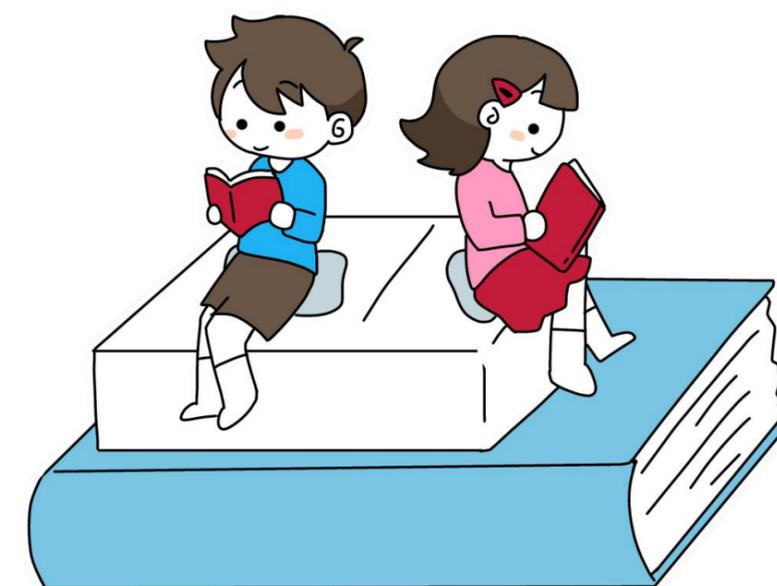
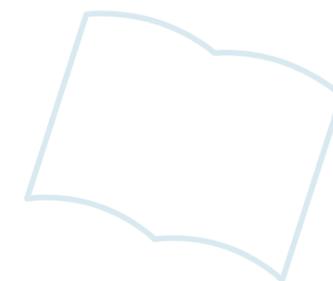
指標		現状	目標 (R11)
① 「読書が好き」な児童・生徒の割合	小6	68.6%(R5)	80%
	中3	64.1%(R5)	80%
② 読書をしている児童・生徒の割合	小6	83.8%(R6.6)	90%
	中3	68.1%(R6.6)	80%

・令和5年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)
・令和6年度生活や学習、学級に関する調査(福井県教育研究所)

第4次福井県子どもの読書活動推進計画

令和7～11年度

～ワクワク・ドキドキ
「読書って楽しい」、「知ることってうれしい」をサポート～



第4次福井県子どもの読書活動推進計画



ふくい
SDGs

お問い合わせ

福井県 教育庁 生涯学習・文化財課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

TEL 0776-20-0559

MAIL syoubun@pref.fukui.lg.jp

福井県の子どもの読書活動推進の取組みについて
詳しくはホームページをご覧ください



令和7年3月
福井県教育委員会

基本目標

子どもたちが本と出会い、

読書を楽しむ環境づくり

～ワクワク・ドキドキ

「読書って楽しい」「知ることってうれしい」をサポート～

基本方針

子どもと本との 出会いの創出

子どもと本との出会いの機会を増やし、すべての子どもが読書に親しめる環境づくりを推進します

子どもの読書を支える 人づくり

子ども一人ひとりにあった本との出会いをサポートするために、子どもの読書を支援する人材を育成します

子どもの読書に関わる 情報の収集・発信

子どもの読書活動に関わる有効な情報収集を行い、学校、保護者、図書館、書店、民間団体に発信します

取組みにおける新たな視点

デジタル社会に対応した 読書環境の整備

1人1台端末の活用、言語能力や情報活用能力の育成、多様な子どもたちの読書機会の確保、図書館および学校図書館等のDXを進めます



小学校での
タブレット活用の様子

多様な子どもたちの読書機会の 確保(読書バリアフリー)

障がいのある子ども、日本語指導を必要とする子ども等、多様な子どもの可能性を引き出すための読書環境を整備します



リーディングトラックーを
使っている様子

読書の範囲

- 1冊の本(文学作品等)を読み通すことだけでなく必要な情報を得るために資料を読むことも「読書」
- 図書、雑誌、新聞等の紙資料、電子書籍等

読書の意義

- 子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの

主な取組み

(1) 家庭における取組み

- 子どもの成長段階に応じた推奨図書の小冊子を図書館等で配布
- 作家等を招いた講演会などを実施し、県民全体の読書活動を推進
- 保護者を対象に読書の楽しさや意義の理解促進を図る講座等を開催



推奨図書小冊子
幼児編 小学生編 中高生編

(2) 地域における取組み

① 図書館

- ジュニア司書の養成・育成、子どもの視点に立った読書推進
- 県立図書館への電子書籍サービスの導入
- 県立図書館の検索システムに書店の在庫を確認できる機能の追加
- 郷土資料のデジタル化を進め、学校等の探究学習での活用を促進
- 子ども読書ボランティアへの読み聞かせ情報提供



ジュニア司書養成講座
カウンター体験

② 地域

- 児童館、児童クラブ、こども食堂等での読書に触れる機会の拡充
- 学校図書館サポーターの育成・養成
- 読み聞かせボランティアの育成・養成、レベルアップ支援
- 読み聞かせボランティアカンファレンスの実施
- 児童館での図書整備に推奨図書の情報の提供や助言等の実施



子どもが子どもに読み聞かせ

(3) 学校等における取組み

① 幼稚園・保育所・認定こども園等

- 推奨図書の紹介や図書整備、読書活動についての助言等を実施
- 幼稚園教諭・保育士等を対象にオンライン研修の実施



学校図書館活用研修

② 小学校・中学校・高等学校

- 学校図書館の機能を活用した授業や読書タイムの設定、家庭読書などを推進
- 読書を楽しむために、校内ビブリオバトル等の取組みを推進
- 文学賞への応募など自分も書き手となる取組み
- 児童・生徒用タブレットでの蔵書検索システムの導入を進め、学校図書館の活用を推進
- 管理職や学校図書館の運営を担う教職員等を対象とした図書活用研修を実施
- 学校司書の配置や学校図書館の充実を市町へ働きかけ
- 高校での学校図書館を活用した読書推進の取組みの紹介、発表



学校図書館での授業

③ 特別支援学校

- バリアフリー図書(点字図書、LLブック等)の充実の推進
- バリアフリー図書体験セットの貸出
- 図書館からの図書貸出を支援し、希望する本の貸出、配送を実施



大きな文字で読みやすい大活字本



分かりやすく書かれたLLブック

(4) 全ての活動の基礎となる県の取組み

- 子どもの成長段階に応じた推奨図書の選定、普及
- 市町の子ども読書活動推進計画の策定および見直しの支援
- 子ども読書ボランティアの優れた活動を積極的に表彰
- 子どもの読書活動に関する情報を集約したホームページを作成
- 学校・家庭・地域のそれぞれが連携・協力しながら効果的に推進



小学校での推奨図書展示